令和5年度　九州医療専門学校　歯科衛生士科

科　目　名	心理学	学　　年	1　　年　　期生
担　当　者		期　　別	後期
単　位　数	2　　単　位	講義　・　実習	講義
時間数・授業回数	4 時間×　　8 回	専任　・　兼任	兼任
実務経験	臨床心理士・看護師の経験を有する教員が、心理学・カウンセリングに関する授業を担当する		

一般目標（GIO）

心理学の各領域の代表的な理論と知見を紹介し、また日常生活の身近な題材を活用して、人間行動の仕組み関する認識を深めながら心理学の基礎を習得する。

人はどのようなことを考え、どのような行動をするのか、心理学の基礎的な理論を教科書や資料を用いて解説す

回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標（SBOs）
1	10	11	水	3	「見る・聞く・感じるこころ」「学ぶ・覚えるこころ」	知覚についての基礎知識・特徴について理解する
2				4	〃	学習・記憶についての基礎知識・病理について理解する
3	11	1	水	3	「やる気の心理」「喜怒哀楽のこころ」	動機付け・欲求について概念・特徴を理解する
4				4	〃	感情・ストレスについて理解する
5		15	水	3	「その人らしさの心理」「かしこさの心理」	パーソナリティの特徴・障害について理解する
6				4	〃	知能の基礎知識、障害について理解する
7		22	水	3	「考えるこころ」「発達するこころ(1)」	考える・問題解決法について理解する
8				4	〃	発達の基礎知識について理解する
9	12	4	月	1	「発達するこころ(2)」「人と関わる心理」	発達・生涯の発達について理解する
10				2	〃	人間関係について学ぶ
11		20	水	3	「人と集うこころ」「健康なこころ」	集団・リーダーシップについて理解する
12				4	〃	メンタルヘルスについて学ぶ
13	1	22	月	1	「カウンセリングのこころ」「思いを伝えあうこころ」	カウンセリングのマインドについて理解する
14				2	〃	コミュニケーションスキルを高める
15	2	7	水	4	まとめ	授業のまとめ、心理学の歴史について理解する
		14	水		テスト	

評価基準		教科書	参考書
筆記試験	80%	医歯薬出版　心理学	
平常授業態度	20%		
	%		

1限目（9:00～10:30）　2限目（10:40～12:10）　3限目（13:00～14:30）　4限目（14:40～16:10）

令和5年度　九州医療専門学校　歯科衛生士科

科　目　名	コミュニケーション論	学　　年	1　　年　　期生
担　当　者		期　　別	前期
単　位　数	1　　単　位	講義　・　実習	講義
時間数・授業回数	2時間　×8回	専任　・　兼任	兼任
実務経験	電機、航空会社、商社勤務経験を有する教員がコミュニケーションスキルの授業を担当する		

一般目標（GIO）

現代社会コミュニケーション学を根拠や理論に基づき他者との関わりを修得するために必要な要素である目的や手段を知り、双方通行の基礎知識を身に付ける。オンライン(WEB)コミュニケーションも修得する。

回数	月	日	限目	項目	行動目標（SBOs）
1	6	5	1	序章：現代、社会コミュニケーションとは　人との関わり方、ラポール	コミュニケーションの在り方を述べる
2			2	1章：コミュニケーションの印象力、外見、身嗜み、表情の意味	人との関係性をきずく伝達経路について説明する
3	6	14	1	2章:コミュニケーションの話す力、明確で丁寧な話し方、話材	言葉を媒介とする言語的主張も選択する
4			2	模擬演習・アクティブラーニング	声の大きさ、発音、発声挨拶用語を使用する
5	6	19	1	3章：コミュニケーションの態度力、基本動作、共感を生み出す傾聴力	言葉を媒体としない非言語の意味を認識する
6			2	模擬演習・アクティブラーニング	自分を生かす、相手を生かす基本動作を理解する
7	7	3	1	4章：コミュニケーションの会話力、敬語、医療用語、患者の敬い方	聴く力、かかわる力の視点について関係づける
8			2	ミニテスト／ロールプレイング	敬語を使う対象と使い方の原則について分類する
9	9	19		テスト	
10					
11					
12					
13					
14					
15					

評価基準		教科書	備考
筆記試験	40%		
レポート等	10%		シート：使用
小テスト	30%		プリント：使用
平常点	20%		

1限目（9:00～10:30）　2限目（10:40～12:10）　3限目（13:00～14:30）　4限目（14:40～16:10）

令和5年度　九州医療専門学校　歯科衛生士科

科　目　名	生物学	学　　年	1　　年　　期生
担　当　者		期　　別	前期
単　位　数	2　　単　位	講義　・　実習	講義
時間数・授業回数	2 時間×　　15 回	専任　・　兼任	兼任
実務経験	大学口腔生化学講座の教員として39年間教育・研究に携わる。		

一般目標（GIO）

生命科学は生物学を基本とした学問分野であるが、生物学の知識と応用の延長に歯科医学の基礎をつくる解剖学学、生理学、生化学などの分野も展開している。歯科衛生士は生命科学の知識なくして、人間の体の成り立ち、仕組働きなどを理解することがより困難になっている。そこで生命とは何か、地球上の生命は如何にして誕生したのかを考たうえで、生命を作る細胞の成り立ちと活動、生命が連続するメカニズム、そして生命が環境の変化に合わせて生活仕組みについて認識を深める。

回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標（SBOS）
1	4	20	木	2	生　命	地球上の生命の誕生について述べることができる
2		27	木	2	細胞の構造	生物学の重要概念の一つである「細胞」を説明できる
3	5	11	木	2	細胞の働き	生命をつくる細胞の成り立ちと活動を列挙できる
4		18	木	2	組織と器官	細胞の集合体が組織・器官であることを系統立てる
5		25	木	2	生　殖	生命が連続する仕組みについて説明できる
6	6	1	木	2	メンデル遺伝	遺伝学の基礎を現実の問題として解釈できる
7		7	水	2	分子遺伝	遺伝子の本体DNAやRNAの働きについて列挙できる
8		15	木	2	発生・老化	発生の仕組みと老化のメカニズムを述べることができる
9		22	木	2	神　経	外部刺激を受容し反応する系を系統立てる
10		29	木	2	代　謝	細胞内外でおこる化学反応を総括できる
11	7	6	木	2	ホルモン	細胞から器官間の情報伝達の仕組みを列挙できる
12		12	水	2	生体防御	生命が持つ防御機構を説明できる
13		13	木	2	動物の行動	環境変化に応じて動物が生活する仕組みを解釈できる
14		20	木	2	生態学	現生生物と自然環境との関係を列挙できる
15	9	13	水	2	進　化	生命誕生以来の生物の進化について説明できる
		19	火		テスト	

評価基準		教科書	参考書
筆記試験	95　%	医歯薬出版　生物学	
平常点	5　%		
	%		
	%		

1限目（9:00～10:30）　2限目（10:40～12:10）　3限目（13:00～14:30）　4限目（14:40～16:10）

令和5年度　九州医療専門学校　歯科衛生士科

科　目　名	化学	学　　年	1　　年　　期生
担　当　者		期　　別	前期
単　位　数	1　　単　位	講義　・　実習	講義
時間数・授業回数	2H×8回	専任　・　兼任	兼任
実務経験	大学口腔生化学講座の教員として39年間教育・研究に携わる。		

一般目標（GIO）

化学は物質の性質、構造、変化に関する学問である。歯科衛生士は医療の現場で種々雑多な歯科材料などの物扱う立場にあり、それぞれに対して科学的な基礎知識が必要不可欠である。そこでそれらに対応するように、物質のを理解させるためにできるだけ平易になおかつ体系的に行われる講義を受講することによって、その後の基礎科目科目の基礎となるように、理解を深めることを目指す。

回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標（SBOs）
1	5	8	月	3	イントロダクション　原子・分子	「物質」を分類し、その構造を述べることができる
2		15	月	3	気　体	気体の温度−圧力関係や空気の性質を解釈できる
3		29	月	3	溶液・濃度　酸・塩基	濃度を分類し、濃度計算を正確にできる
4	6	5	月	3	酸化・還元	酸化・還元反応について一般化することができる
5		19	月	3	化学反応	種々の化学反応式を解釈することができる
6		26	月	3	有機化合物	有機化合物の基礎を把握する
7	7	10	月	3	生体高分子	糖質・脂質・タンパク質の構造と機能について説明できる
8	9	11	月	3	環境学概論	地球環境に及ぼす化学物質の影響を説明できる
9		19	火		テスト	
10						
11						
12						
13						
14						
15						

評価基準		教科書	参考書
筆記試験	90%	医歯薬出版　歯科衛生学シリーズ化学	
平常点	10%		
	%		
	%		

1限目（9:00〜10:30）　2限目（10:40〜12:10）　3限目（13:00〜14:30）　4限目（14:40〜16:10）

令和5年度　九州医療専門学校　歯科衛生士科

科　目　名	情報処理技術（Excel・PowerPoint）	学　　年	1　　年　　56　　期生
担　当　者	富永　　裕樹	期　　別	後期
単　位　数	2　単　位（30H）	講義　・　実習	実習
時間数・授業回数	2H×15回	専任　・　兼任	兼任
実務経験	パソコンインストラクターの経験を有する教員が、Excel及びPowerPointについて指導する。		

一般目標（GIO）

Microsoft Excelの基本的な機能を理解し、表計算やグラフの作成およびデータベース機能を利用したデータの管理などの基本操作を習得する。
Microsoft PowerPointの基本的な機能を理解し、スライドの作成や発表原稿の作成、発表する際の操作など基本操作を習得する。

回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標（SBOs）
1	12	4	月	3	第1章 Excelの基礎知識	Excelで何ができるかを説明できる。
2				4	第2章 データの入力	データ入力や保存等の基本的な操作ができる。
3	12	11	月	3	第3章 表の作成	表作成に関する操作ができる。
4				4	第4章 数式の入力	適切な関数を選択できる。
5	12	18	月	3	第5章 表の印刷	印刷に関する操作ができる。
6				4	第6章 複数シートの操作	複数シートに関する操作ができる。
7	1	15	月	3	第7章 グラフの作成	適切なグラフを選択できる。
8				4	第8章 データベースの利用	データベースに関する操作ができる。
9	1	22	月	3	付録3 プレゼンテーションの基礎知識 第1章 PowerPointの基礎知識	プレゼンテーションの流れを説明できる。 PowerPointで何ができるかを説明できる。
10				4	第2章 基本的なプレゼンテーションの作成	プレゼンテーション作成に関する基本的な操作ができる。
11	1	29	月	3	第3章 表の作成	表作成に関する操作ができる。
12				4	第4章 グラフの作成	適切なグラフを選択できる。
13	2	5	月	3	第5章 図形やSmartArtグラフィックの作成	目的に合った図形を選択できる。
14				4	第6章 図・クリップアート・ワードアートの挿入	図・クリップアート・ワードアート作成の操作ができる。伝えたい内容に応じてSmartArtグラフィックを選択できる。
15	2	26	月	3	第7章 特殊効果の設定 第8章 プレゼンテーションをサポートする機能	特殊効果の設定に関する操作ができる。 スライドショー実行中の操作やリハーサルに関する操作ができる。
				4	**定期テスト**	Excel2019、PowerPoint2019の実技総テスト

評価基準			教科書	参考書
実技試験	90%		FOM出版 よくわかるMicrosoft よくわかるMicrosoft Excel 2019基礎 よくわかるMicrosoft PowerPoint2019基礎	
平常点	10%			
		%		
		%		

1限目（9:00～10:30）　2限目（10:40～12:10）　3限目（13:00～14:30）　4限目（14:40～16:10）

九州医療専門学校　歯科衛生士科

科　目　名	歯科英語(英会話含む)	学　　年	1　　年
担　当　者		期　　別	前期
単　位　数	2　　単　位	講義　・　実習	講義
時間数・授業回数	2 時間×　　15 回	専任　・　兼任	兼任
実務経験	本校での27年間の指導		

一般目標(GIO)

歯科衛生士として患者への会話力を身につける。

専門用語を英語で理解し、書ける。

回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	18	火	2	自己紹介、テキスト8～10	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲによりｱｲｺﾝﾀｸﾄをしながら自己紹介ができる。重要表現を声に出して言い、理解する。
2		25	火	1	ﾘｽﾆﾝｸﾞ&ﾃﾞｨｸﾃｰｼｮﾝ テキスト26～29/重要表現	重要表現を書き、理解する。声に出して言い、内容を理解する。
3	5	9	火	2	ﾘｽﾆﾝｸﾞ&ﾃﾞｨｸﾃｰｼｮﾝ テキスト28～33/重要表現	重要表現を書き、理解する。声に出して言い、内容を理解する。
4		16	火	1	ﾘｽﾆﾝｸﾞ&ﾃﾞｨｸﾃｰｼｮﾝ テキスト31～36/重要表現	重要表現を書き、理解し読める。声に出して言い、内容を理解する。
5		23	火	1	ﾘｽﾆﾝｸﾞ&ﾃﾞｨｸﾃｰｼｮﾝ テキスト36～41/重要表現	重要表現を聞いて書き取り、理解する。声に出して読み、内容を理解する。
6		30	火	1	ﾘｽﾆﾝｸﾞ&ﾃﾞｨｸﾃｰｼｮﾝ テキスト42～45/重要表現	重要表現を聞いて書き取り、理解する。専門用語を理解する。
7				2	ﾘｽﾆﾝｸﾞ&ﾃﾞｨｸﾃｰｼｮﾝ テキスト46～56/重要表現	重要表現を聞いて書き取り、理解する。声に出して読み、内容を理解する。
8	6	6	火	1	ﾘｽﾆﾝｸﾞ&ﾃﾞｨｸﾃｰｼｮﾝ テキスト56～63/重要表現	重要表現を聞いて書き取り、理解する。声に出して読み、内容を理解する。
9		20	火	1	ﾘｽﾆﾝｸﾞ&ﾃﾞｨｸﾃｰｼｮﾝ テキスト63～67/重要表現	重要表現を聞いて書き取り、理解する。声に出して読み、内容を理解する。
10				2	ﾘｽﾆﾝｸﾞ&ﾃﾞｨｸﾃｰｼｮﾝ テキスト67～74/重要表現	重要表現を聞いて書き取り、理解する。声に出して読み、内容を理解する。
11		27	火	1	ﾘｽﾆﾝｸﾞ&ﾃﾞｨｸﾃｰｼｮﾝ テキスト78～92/重要表現	重要表現を聞いて書き取り、理解する。声に出して読み、内容を理解する。
12	7	11	火	1	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 重要表現のまとめ	これまでのﾃﾞｨｸﾃｰｼｮﾝの中からｸﾞﾙｰﾌﾟで英文をﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞに書き、ﾁｪｯｸｼｰﾄを作成する。
13				2	ﾘｽﾆﾝｸﾞ&ﾃﾞｨｸﾃｰｼｮﾝ まとめ	ﾁｪｯｸｼｰﾄのｲﾝﾌﾟｯﾄ。声に出して言える。
14		18	火	1	重要表現テスト、ﾃﾞｨｸﾃｰｼｮﾝﾁｪｯｸ	重要表現を暗記して言える。
15	9	12	火	1	重要表現テスト、ﾃﾞｨｸﾃｰｼｮﾝﾁｪｯｸ	重要表現を暗記して言える。
		20	水		テスト	

評価基準		教科書	参考書
筆記試験	%	医学情報社　歯科用英語ハンドブック即戦力トレーニング	歯科医院での実用英会話
平常点	%		
	%		
	%		

1限目(9:00～10:30)　2限目(10:40～12:10)　3限目(13:00～14:30)　4限目(14:40～16:10)